

脳神経医学セミナー

(来聴歓迎・事前登録不要)

米国多施設共同研究ネットワーク(SPAN)を用いた
脳梗塞に対する脳保護薬の探索
～preclinicalとclinicalの壁を突破するには？～

Harvard Medical School 今井貴彦先生

日時 2024年3月18日月曜日 午後5時～6時

場所 金沢大学宝町キャンパス 十全講堂2階 会議室

<http://square.umin.ac.jp/top/map/juzen2F.pdf>



脳梗塞は重篤な後遺症を残すことから、効果的な治療法の開発が望まれている。2019年に米国でStroke Preclinical Assessment Network (SPAN) が設立され、より臨床試験に近い条件での脳梗塞治療法の検証が行われている。2020年から2022年にかけてのSPAN1では6つの治療アプローチの効果検証が行われた。本セミナーでは、脳梗塞の治療の現状と課題、前臨床試験で用いられる脳梗塞病態モデル (中大脳動脈閉塞モデル)、そしてSPANを介した治療薬開発について紹介したい。さらに、我々が注目するRhoキナーゼ阻害薬FasudilのSPANにおける解析結果についても紹介したい。

医学専攻・博士課程専攻共通Up-to-dateセミナーおよび医学類選択科目・医学研究特設プログラム・最新医学研究、MR Tプログラムセミナーに認定します。

問合せ 金沢大学 医学系 脳神経医学分野 河崎 洋志

kawasaki-labo@umin.ac.jp

金沢医科大学 総合医学研究所 西園 啓文

hirofumi@kanazawa-med.ac.jp